



学校だより

ゆめは大きく

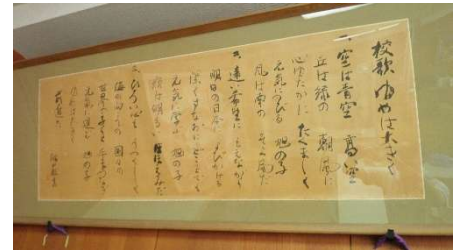
尾張旭市西の野町5丁目1番地 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立
旭小学校
第13号
令和8年
6年生用

TEL 0561-53-2035

夢は大きく 前進だ!

本校において自慢できる場所の一つに「にじの森」があります。みなさんも学習や遊びで身近な場になっていたと思います。私が4月に本校に赴任した時もそこで遊んでいた6年生との出会いからスタートしました。



そこは、春夏秋冬の特徴が見られる素敵な場所です。寒い冬から少しずつ春めいていき、やがて森の奥の桜が満開の季節を迎えます。そして、桜が散ると中心にある柳が葉を伸ばし始め、その存在感を出してきます。やがて、白い入道雲がわき、木陰が心地よい夏。池ではザリガニやメダカの動きが活発になり、王者であるニシキゴイが優雅に泳いでいます。降るような蝉時雨から、田んぼで黄金に輝く稲穂の上を赤とんぼが飛び交う秋。そして、池に薄氷が張り、初雪を迎えます。

みなさんは、どの季節が好きですか。このように聞くと、「春・夏・秋」と答える人が比較的多く、「冬」と答える人は少ないようです。

みなさんがこの小学校に入学した6年前。世界が新型コロナウイルスという未知の脅威に直面していた時期でした。ようやく始まった学校生活も、マスク越しで友達の表情が見えず、給食はお互いの距離をとっての黙食。当たり前のはずだった遠足や運動会といった行事も、形を変えました。「三密」を避けるために学習も遊びも大きく制限された日々を皆さんは強い心で耐え、自分たちに今できることは何かを必死に探し、工夫をしてきたはずです。四季でいうと、「冬」であったかもしれません。しかし、「冬」がなければ、「春」へのエネルギーをためることはできません。

みなさんは「冬」の経験を経て、最高学年である6年生として「春」を感じさせてくれました。通学団や休みの時間に、1年生に対して親切にお世話をしたり、朝、絵本の読み聞かせをしたり、掃除のしかたを優しく教えたりしていました。また、児童会や委員会活動で学校全体のために企画を考えました。特に、体育館で行われた、「1本ボーリング」や「紙飛行機飛ばし大会」は大変盛り上がりしました。

そして、運動会での組体操。5年生と心を一つにして取り組んだ演技は、見ている人たちを感動させ、在校生に「あこがれ」を抱かせました。

それぞれの季節に持ち味があり、いっぺんに全部の四季を味わうことはできません。春夏秋冬に優劣はなく、いろんな季節があるから魅力的です。

実は、人も同じです。私たちは他人と比べて優劣を考えがちですが、いろんな持ち味の人が出て世の中は成り立っています。長所も短所も含めて、得手・不得手があり、その人ならではの「持ち味」が出来上がっていくのです。みなさんも自分の持ち味に気づき、そして、それを大切に、自分に自信をもって行ってください。

さあ、校歌の歌詞にあるように「夢は大きく 前進だ!」 卒業おめでとう!

校長 岩下 徹